

プラズマ・核融合学会誌

第97巻第7号

2021年7月

解	説	大気圧 DC グロー放電により誘起されるプラズマ - 液体間の界面反応	白井直機	381
講	座	固体レーザーの基礎		
		3. 高出力固体レーザー及び最新動向	北島将太郎	388
講	座	プラズマ・核融合科学者として君たちはどう生きるか		
		4. 強靱な物質：プラズマ	田島俊樹	396
		5. プラズマ核融合研究を原点とした応用展開	間瀬 淳	399
プロジェクトレビュー		複合ビーム材料照射装置 DuET を用いた核融合炉材料研究と関連材料研究の展開	藪内聖皓, 近藤創介, 檜木達也, 笠田竜太	403
追	悼			419
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト				421
インフォメーション				423
ITER だより ⁽⁸⁸⁾				
【人事公募】				
本	会	記	事	
学会ホームページ：「会員専用ページ」パスワードのお知らせ				425
編 集 後 記				

表紙の絵

J-TEXT トカマクにステラレータ磁場配位を重畳した場合の非線形 MHD を MIPS コードで考察した結果、低 q 配位の非線形 MHD シミュレーション結果を左列に、 $l=2$, $n=2$ のステラレータ磁場を重畳した場合を右列に示す。このステラレータ磁場は、プラズマ境界で $\iota_{coil}/\iota_0 \sim 0.1$ のヘリカル磁場を作り出す。ステラレータ磁場を重畳した場合 $q=2$ 有理面上で $m=2$ モードが抑制されていることがわかる。このことから、トカマクにステラレータ磁場を重畳したハイブリッド運転は低 q 配位に有効である。(Jie HUANG *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol. 16, 2403047 (2021) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター（(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体）と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません（社外頒布用の複写については許諾が必要です）。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 2F Tel: (03) 3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾（著作物の引用、転載、翻訳等）に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。